

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
平成30年度事業 点検・評価調書

5-III-13

5-III
-13

章	第5章 世界遺産を核とした魅力ある地域づくり		取組項目	県内観光拠点における情報発信
	節	Ⅲ. 佐渡金銀山・関連地域資源を活用した島内及び全県的な魅力の発信		
事業(施策)名	13 佐渡金銀山観光活用検討事業		事業主体	佐渡市観光振興課
	事業実施期間	H28～R4	関連団体	県観光企画課、新潟市観光政策課、長岡市観光企画課、上越市観光交流推進課、県観光協会、佐渡観光交流機構
事業概要	【事業目的】	○県内外の観光拠点やアンテナショップ、物産イベント等をはじめ、あらゆる広報チャンネルの活用により、多様なターゲットに応じた効果的な誘客を図る。		
	【事業内容】	○県内外の観光拠点でのパンフレット設置やイベント開催のほか、首都圏・関西圏のアンテナショップや全国各地で開催される「新潟フェア」等物産イベントの活用、また、コアなファン層に特化した提供情報の精査など、戦略的なPR活動を行う。		
30事業計画と実績	【30年度計画】	●JR産直市や百貨店、アンテナショップ等での世界遺産PRイベントに5回参加し、世界遺産登録に向けたPRを行う。		
	【30年度実績】	●4月名古屋FDAイベント 5月大宮駅新潟産直市イベント 10月大宮駅新潟産直市イベント 11月上野駅新潟・庄内産直市イベント 12月千葉駅新潟・庄内産直市イベント		
課題・今後の取組	【課題】	■首都圏イベントでも佐渡の認知度は低いことから、定期的なPRの機会を捉え発信する必要がある。関西圏では首都圏と比較し移動時間がかかることから観光地として選ばれにくい傾向にある。		
	【今後の取組】	■引き続き首都圏や関西圏での情報発信とあわせ、佐渡観光時に会員への各種特典サービスが受けられるに「さどまる倶楽部」の入会促進を図り、関係人口の増加を図る。		
事業評価	【事業の達成度】	◇当初計画どおり事業実施したことから、本評価とした。 今後も各種イベントでPRを実施する。		
	【事業実施の効果】	[a ● b · c]		
	【総合評価】	[A ● B · C]		

a: 進んでいる。高い。
b: 概ね順調。概ね適切。
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。